

# 日常生活の指導 学習指導略案

あさひ子学級 3組 5名 指導者 上唐湊 武  
あさひ子学級 4組 5名 指導者 鳥越 夏紀

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 子どもが意欲的に授業に参加して、活動の見通しをもつことができる内容であったか。
- 「学び合い」を設定したことは、相手に適切に意思を伝えたり、相手の意思に上手く応えたりすることの手立てとして有効であったか。

## 1 題 材 進んで楽しく活動しよう

### 2 題材について

#### (1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を帯状に設定し、朝の会を中核に据え、下記のような様々な指導を展開している。

本題材は、子どもが朝の会をはじめとする様々な活動を行う中で、学級の一員として大切な役割を果たすことから効力感を感じたり、活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりするという点で、一日のスタートの1校時に設定できる格好の題材といえる。また、毎日、一定時間にほぼ同じような活動を繰り返し行うので、子どもは自分の課題をより理解しやすくなり、その課題に取り組むことにより様々な力を獲得していくことができる。

例えば、子どもは日にち、天気や毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）を読む活動を行っている。その後、大型カレンダーで昨日までの行事を振り返ったり、その日や数日後に控えている活動への見通しをもったりすることができる。また、カレンダー学習では「おととい」「きのう」「きょう」「あした」「あさって」「しあさって」のカードを貼ることで、子どもは時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。他にも、挨拶の仕方や言葉遣いを身に付けること、集団での決まりを学ぶこと、当番活動における自分の役割を果たすこと、身辺処理ができるようになることなど、様々な力を身に付けていくことができる。そして、子どもはみんなできいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合い関わり合う中で、基本的生活習慣の定着を図り、豊かに生きる力を育てていくことにつながるものと考えている。

#### (2) 子どもの実態

子どもは、この題材における活動や役割を繰り返し行う中で、各自の課題を一つずつ解決している。この題材における子どもの現段階での主な課題は次の通りである。

児童(学年)	主 な 課 題	児童(学年)	主 な 課 題
A(1年)	○ 席に座り一定時間集中して課題に取り組むことができる。 ○ 見通しをもって、最後まで当番活動をやり遂げることができる。	F(3年)	○ 下学年に当番活動の進め方を教えて一緒に活動することができる。 ○ 文節に気を付けながら文を読み、内容を理解することができる。
B(2年)	○ 教師や友だちの話を最後まで聞いて、行動に移すことができる。 ○ モーニングメッセージを読み、内容を理解することができる。	G(4年)	○ 下学年に当番活動の進め方を教えて一緒に活動することができる。 ○ 時系列を表す言葉の意味が分かり、説明することができる。
C(2年)	○ 名前を呼ばれたら大きな声で返事することができる。 ○ 友達と一緒に最後まで当番活動をやり遂げることができる。	H(5年)	○ 当番活動を丁寧にやり遂げることができる。 ○ 拗音・促音に気を付けながら文を読むことができる。
D(2年)	○ 教師や友だちの話を最後まで聞いて、行動に移すことができる。 ○ 相手が聞き取ることができる音量で話することができる。	I(6年)	○ 平仮名や漢字で書かれた文を読むことができる。 ○ 片仮名や拗音・促音に気を付けながら文を読むことができる。
E(4年)	○ 教師や友だちの話を最後まで聞くことができる。 ○ 平仮名の拾い読みをすることができる。	J(6年)	○ 下学年に当番活動の進め方を教えて一緒に活動することができる。 ○ 相手の反応から感情を考え、関わるることができる。

#### (3) 指導に当たって

子どもが各自の課題を解決できるように、繰り返しの活動を設定すると共に、称賛を十分に行うようにする。また、「学び合い」をとおして、相手に教えたり教えてもらったりしながら様々な活動を協力して最後までやり遂げることができるようにする。

### 3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、学級の一員としての役割を果たす喜びをもつとともに、今日一日やこれからの生活に楽しみや見通しをもつことができるようにする。
- (2) 割り当ての当番活動を進んで果たしたり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じた挨拶や、他者とのやりとりができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。
- (5) 時間や時刻が分かり、「今日、明日、明後日、昨日、今週、来週、再来週、先週」などの時を表す言葉を分けることができるようにする。
- (6) 話す、聞くなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

### 4 指導の実際

[ ] 子どもの意欲    □ 指導の手立て    ※評価

時間	主な学習活動と指導の手立て・評価	
20	1 朝の会をする。 (1) 朝の挨拶をする。 (2) 健康観察をする。 (3) 今月の歌を歌う。	「大きな声で『はい』と返事をしようね。」等の言葉掛けをすることで、名前を呼ばれたらはっきりと返事ができるようにする。 ※ よい姿勢で挨拶をしたり、言葉のやりとりをしたりすることができる。
	(4) 朝の挨拶をするぞ。 (5) ○○くんは大きな声だな。僕も大きな声で挨拶をするぞ。	教師自らが、大きな声で歌うことで、子どもも大きな声と笑顔で歌うことができるようにする。 ※ 大きな声と笑顔で歌うことができる。
	(6) 歌を歌うのは楽しいな。 (7) 先生のようにはっきり歌うぞ。 (8) 今日は何の楽器を使おうかな。	活動の様子を撮った写真と活動内容を文字で表したカードを用いることで、子ども自らが当番活動を進めることができるようする。
	2 今日の当番活動を確認して、自分の当番活動をする。	当番活動が終了した際は、教師に「終わりました。」と伝えることで、活動と活動の区切りをつけることができるようにする。教師は、「やったマーク」を子どもに与えることで、活動終了の達成感をもつことができるようにする。 ※ 進んで当番活動に取り組むことができる。
25	3 モーニングメッセージを読む。	子ども一人一人がモーニングメッセージ読む時間を設定することで、今日の日付などを理解できるようにする。 よかったところを話し、大いに称賛することで、音読に対する自信をもつことができるようにする。 ※ 正しく音読したり内容を理解したりすることができる。
	(1) 今日は6月6日金曜日だ。 (2) 雨の降る心配はないぞ。 (3) この後の天気はどうなるかな。 (4) 間違えないで読めるかな。 (5) 大きな声で元気に読むぞ。	時を表す言葉のカードを貼って、時間割を確認する活動を設定することで、今日の子予定や一週間の楽しみや見通しをもつことができるようする。
	4 大型カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ。	※ 「きょう」「あした」などのカードを所定の場所に貼ることができる。
	(6) 今日も一日頑張ろう。 (7) 今日は帰る時刻が早かったな。 (8) 来週は何があるのかな。	各自の実態にあった学習内容を設定することで、全員が集中して学習できるようにする。 ※ 自分の課題に落ち着いて取り組むことができる。
25	5 集中タイムで各自の課題する。	模型時計を準備し、開始時刻を表す活動を設定することで、次の学習開始時刻を確認できるようにする。
	(1) 昨日の日記をみんなに聞きやすいように読むぞ。 (2) 今から、○○○のプリントをするぞ。 (3) ここが分からないから、先生に聞いてみよう。	※ 次の学習の準備をすることができる。
25	6 次の学習の開始時刻を確認する。	

特別支援